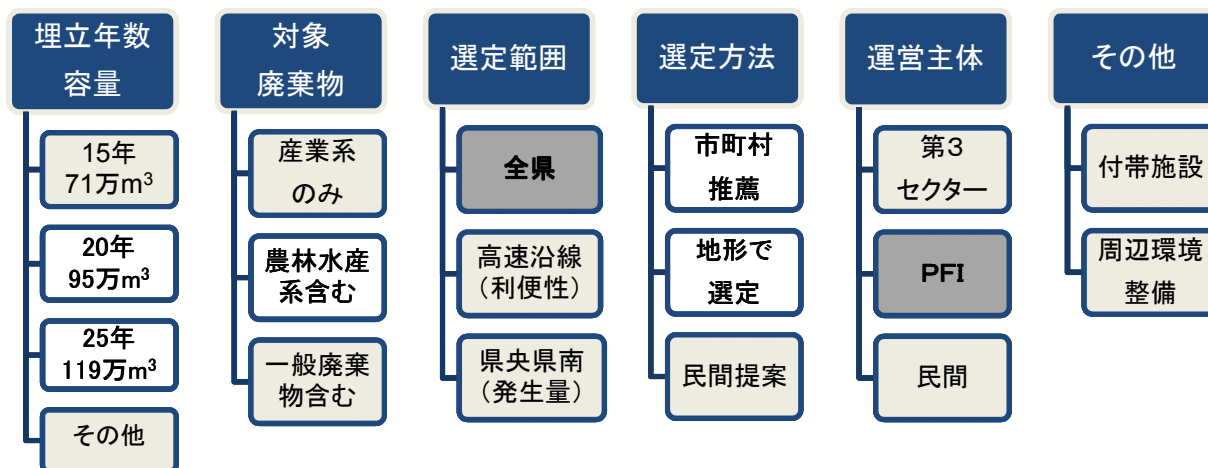


## 整備基本方針たたき台

関係団体からの要望調査結果や前例等をもとに、整備基本方針のたたき台を以下のとおり取りまとめた。  
網掛けした選択肢は、最も要望が多かった選択肢である。



項目	主な意見等	根拠
埋立年数 容量	いわてクリーンセンターの容量は120万m <sup>3</sup> (埋立期間30年)である。	前例
対象廃棄物	農協からは農業資材(廃プラ等)について、漁協からは漁業資材(廃プラ、FRP、漁網等)や貝殻等について排出しているとの回答があった。	意向調査結果
選定範囲	県内全域を対象とすべきとの意見が多かった。	意向調査結果
選定方法	いわてクリーンセンター整備時は、関係市町村に適地の推薦を依頼するとともに、コンサルタント会社に地形等による適地選定を委託している。	前例
運営主体	県が関与すべきで、PFI方式を選択する意見が多かった。	意向調査結果
その他	焼却施設の設置を求める意見が多かった。	意向調査結果